

# 石船

広報第2号

平成28年10月1日

発行  
岩船まちづくり協議会  
広報事業部

題字 石割 恵美子

昭和30年頃 岩船灯台にて

いよいよすぐそこまで迫ってきた岩船大祭。今年会長・組長・頭取を担う方々にまつりに対する想いや意気込みを熱く語っていただきました。



  
岸見寺町 岸若  
高木 芳朗

目前に迫った念願の頭取としての『まづり』  
最高の若衆と賑やかで、怪我・過ちが無く岩船の神様も最後まで楽しめる最高の『まづり』になるよう頑張ります。  
『最後まで俺につでけっしや』

  
地蔵町 地若  
小田 智秋

伝統ある岩船大祭、今年も頭取として参加させていただきます。伝統を守り若い世代に語り継げる様な思いである祭りにしたいと思えます。当日は楽しく、事故等無い祭りで今年も良い祭りだったと言える様に努めます。

  
下大町 篤信会  
小田 邦之

伝統ある岩船大祭に今年は、若連中運営委員長と下大町篤信会会長という大役を務めさせていただきます。光栄に思っています。無事に事故なく祭りが終わり、いい祭りだったと言える様にがんばりたいと思います。

  
下浜町 濱若  
小林 廣道

いよいよ祭り本番も迎えようとしておりますが、当日は事故なく、失敗を恐れず、楽しく笑顔で、心強い濱若若連中と共に、會長の役を務めます。責任重大ではありますが、やってみればどーなるかなって誰にもわがらねすけ、臆することなく挑みます。年に一度の岩船大祭。みんなで楽しみましょう。

  
上大町 大若  
鈴木 俊弘

長く岩船を離れている私が、今年、大若会長という大役を務めさせて頂きます。安全を第一に考え、曳行したいと考えています。諸先輩方、大若全員、並びに岩船の皆様と共に、岩船大祭を盛り上げたいと思います。

  
上町 一番組  
伴田 智

今年は念願の組長！  
いっぺ責任あつけど一番組のみんなが&区のみんながと楽しんでやる！  
気合い入れつつおー！！

  
上浜町 屠龍會  
青山 雅宏

子供の頃から大好きだった「小さな町の大きな祭り」今年は一生涯一度の會長の法被。屠龍會會長の任務と重圧を背負いつつも、自分なりに心の底から楽しみます！そして、多くの人のいろんな想いを乗せた上浜町宿祢様の屋台を屠龍會全員全力で曳行しますので皆様宜しくお願います。

  
惣新町 惣若  
本間 敏明

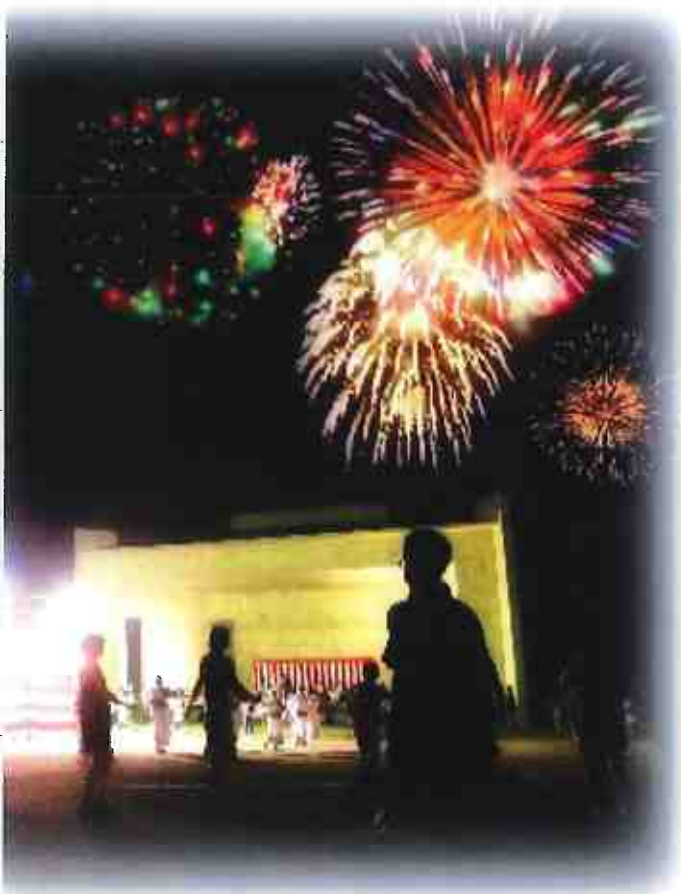
観光客や地元の人たちに喜びと感動を受けてもらえるような祭り・屋台にしてみたいと思っています。当日は、大きな歓声とかげ声で、もり上げてもらえるとうれしいです。オレたち若い連中もキバりますので、よろしく！

  
横新町 誠友会  
坂野 広幸

伝統ある岩船大祭に誠友会会長として、参加できることを心から嬉しく思います。  
誠友会会員全員が「おもしろい祭りだ」と思える祭りになる様、がんばりたいと思います。

伝統あり、演芸あり。一年を通し様々な行事が行われています。  
その一部をご紹介します。





民謡流しに参加して



早川 恵子

転居してきてから、今回で二度目の岩船甚句大会。昨年は見よう見まねで踊るもなかなか覚えられず、今年は踊りの練習から参加しました。当日は、大変暑い日でしたが、大勢の方が集まりました。練習のかいあって、時間がたつにつれ、自然と体が動くようになり輪の中で一体となって踊れた心地よさを感じました。途中の花火にも癒され、岩船の夏を感じる楽しい時間を過ごせました。



第5回 岩船納涼力ウケ会





「新潟リハビリテーション大学 学園祭」

新潟リハビリテーション大学

学生会会長 星 直人

六月十八日に新潟リハビリテーション大学にて学祭がありました。模擬店などの出店の他、授業で習ったことを来ていただいた方に体験していただくコーナーなどで、本学の事を少しでも知って頂けるような機会になればいいなと思いつきました。本学の軽音サークルや、ダンスサークルによるパフォーマンスでも会場を大いに盛り上げてもらいました。そして最後には今年度から本学特任教授に選ばれたメンタリストDaigoさんを迎え、特任教授任命式の後、実際に本学初めての講義をしていただきました。内容は人とのコミュニケーション（意思の疎通）を円滑に取るためなどの方法から、どのような人が異性から好かれるかなどの恋愛の話まで、普段、自分の生活に生かしくいように思われる心理学というものに非常にわかりやすく、丁寧に教えていただきました。地域と密接に関わらせて頂いている大学ですので日頃の感謝の気持ちを少しでもこの機会に伝えられたら幸いです。



みなとフェスティバルに  
出店して



曾我 祐介

港町独特の訛り言葉で元談を交わしあい、朝早くから慣れた手つきでテキパキと準備が進む。私はその様子を横目で確認しながら「今年も始まるんだな!」と、みなとフェスティバルならではの安堵感を覚える。イベントが始まればライブはもちろん、中学生、高校生のパフォーマンス、子供ボクシング教室なんて珍しい企画まで様々。商工会の屋台の内容も充実していて老若男女が1日中楽しめ

る県北地域を代表する正真正銘のB級イベント(笑) スタッフの方たちも親しみやすい方ばかり。普段通りで格好つけないその姿勢は見た目がイマイチでもとても好感が持てます(笑) 毎年、毎年、内容に変化を持たせつつ、みなとフェスティバルらしいイベントを作り上げている関係者の方々と、その団結力には頭が下がります。 来年のみなとフェスティバルに期待すると共に、岩船商工業会の発展。そして、みなとオアシスに認定された岩船地域の今後の益々の繁栄を願っています。

(新発田市 曾我祐介商店)

# 石割☆ヒロキ探検隊

今回の散歩探索エリアは海です！毎日海岸線を車で走っていても気づかないと思いますが、岩船の港も実は知らないうちに変わっています。

上ノ浜が海水浴場だった頃は知りませんが、子供の頃（20年前くらい）アサノセメント脇の岸壁で釣りをしていた時、その岸壁と黄色堤防の間が砂浜だった記憶がありました。お盆が明けるときに船を流しに行くのもそこでした。しばらくその場所には行っていなかったので、今回立ち寄って見たら、もうそこは砂浜ではなく、護岸工事が終了した状態！いつの間に！笑



どうやら平成12年〜27年の間に浸食を防ぐ為に工事をしたらしく、その間こんなにも近くなのに、見ていない場所も岩船の中にはあるんだな、なんて思いました。

みなさんにもそんな場所が岩船の中にあるのでは!?



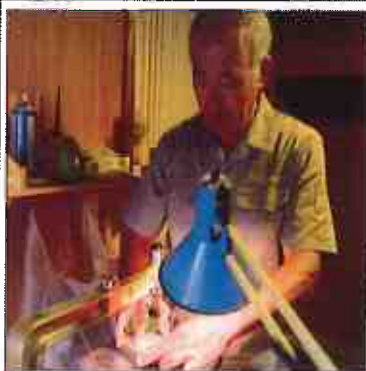
昭和39年 上の浜



## 「糸のこ」との出会い

亀田 康孝

約十五年前、定年を前にたまホームセンターで電動糸のこの安売りに出会い、本を見ながら挑戦した処、思いのほかの出来栄えにすっかり「とりこ」になってしまい、作る楽しみ、完成した時の喜び、友人、知人に差し上げた時のうれしい顔を見る喜び、こちらが嬉しくなっています。



町内イベントに景品や、保育園のバザーへの寄付、又は文化祭への出展など今では生き甲斐になっています。

# 岩船の逸品



## 岩船のあなご

稲葉 志朗

当店の夏の風物詩は、店頭での浜焼きアナゴ。シーズンともなれば、近隣の方々はもとより、県内各地や、隣県山形からも常連客が買い求めに來られる大人気商品なんです。実はこの「アナゴ」なんです、あくまで方言（おもに東北地方の）であつて、標準和名をヌタウナギと言いまして、いわゆる寿司ネタの「穴子」とは全く別物です。

クセになるほど美味しいこのヌタウナギ、しかし見た目が少しグロい。ヌタウナギの名の由来であるヌタがとんでもないシロモノで、生の2〜3本で100リットルほどの水桶の水が全部ゼリー状になってしまいう程強力なんです。だから喰わず嫌いも結構います。ヌタウナギ自体は、日本全国

どこにでもいるのですがヌルルと粘膜を出すために通常の漁法では厄介者扱いにされて捨てられたり、また食べ方が判らざ一般的には市場ではほとんど流通していません。ですが岩船ではカゴ漁で獲ったものを串焼きにして昔から食べられていました。これは全国的にも非常に珍しいようです。まさに岩船名物と言つて過言ではないでしょう。お盆に帰省される人達もこれを食べてからでないと帰らないという方が沢山おられます。なぜなら岩船でしか食べられないのですから。

この最高の素材に何かひと工夫くわえて創作料理なんか作つたら、近年話題のB級グルメの大会でもいい線いくかも？なんてね。



# 頑張れ！未来のアスリート



## 私と陸上

三須 穂乃香

私にとつての陸上とは、「自分が一番輝ける場所」です。ですが、このように思うようになったのは、パラリンピックと出会ってからです。それまでは、なんとなく陸上を続けていました。

高校一年の時、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。その報道を見て、パラリンピックの存在を知りました。「もしかしたら、自分も出場することができるとは思いませんでした。それが、段々と夢から目標に変わっていきました。それからの私は、それまで以上に考え、積極的に練習に

参加しました。昨年は、世界選手権に出場することができました。今年は、リオデジャネイロパラリンピックを目標としていましたが、努力不足で出場できませんでした。

目標を持つことは、頑張る源となり、辛いことも乗り越えていけます。ですが、目標を実現するには、相応な覚悟や、何かを犠牲にし

なければならぬということを学びました。

地域の方をはじめ、たくさんの方々に応援して頂いたにも関わらず、リオデジャネイロパラリンピックに出場できなかった悔しさを胸に、4年後の東京パラリンピックには

必ず出場し、メダルを取れるよう、自分自身を見直し、さらに成長していけるよう頑張ります。そして、多くの方々に感動や勇気を届けられる選手となれるようにも頑張ります。これからも更なる努力を続け、目標実現のために精一杯頑張りますので、変わらぬ応援よろしくお願い致します。



## ボクシングと私

高木 まりあ

私とボクシングとの出会いは、小学一年生の時です。父と岩船小学校プレイルームで開かれていたボクシング教室に参加したのがきっかけです。体力作りが目的で通い始めました。その後、村上ボクシングジム開設と同時に弟と一緒に本格的に習い始めました。今では妹も大会出場を目指し一緒に練習に励んでいます。私自身、まだまだ強くはないし、日々の練習の中で上達を実感することはなかなかできません。自分のイ

メージする動きができず、悩んだり苦戦することもたくさんあります。試合に負け、悔しさも味わいました。でも、毎日のロードワーク、厳しい練習をくり返して、少しずつ達成感を感じる事ができるようになりました。一つ一つ乗り越えていく事は私の自信につながってきていると思います。

私は私自身と約束していることがあります。何があっても諦めない。自分と約束した事は絶対に破つてはいけないと思っています。





どこのリゾート地かと  
思ってしまうこの美しい海。  
何を隠そう撮影地はここ岩船。  
青い空、澄んだ海に魚七人も飛び回る。  
やっぱり岩船の夏はこうでねーば。



## 何故？真鯛なのか？

Team EBISU会長 香取賢一

気付いた時には真鯛を釣っていた。何故？  
真鯛なのか？よくそう言われます。  
時期になれば、夜の電気釣りに行けば、無  
難にアジが釣れるし、砂浜ではキスも釣れ  
る。なのに何故真鯛？

岩船沖での真鯛釣りは、真鯛0枚で帰る  
事もよくある。何時間も手返しを繰り返し、  
アタリ一つない事もしばしば。でも真鯛な  
んです。自作の仕掛けで真鯛に喰わせ、ア  
タリが来て竿先が海中に引き込まれる瞬間。  
ドラグが出て行く力強いヒキ。巻上げ途中  
の真鯛とのやり取り。ピンが上がり、ハリ  
スを約10mも手繰っては引っ張られまた手

繰る。

仕掛けが終わりに近  
づく、ボヤ〜つとし  
た白やピンクの薄ぼけ  
た個体が姿を現す。  
真鯛だ。タモを入れた  
瞬間、真鯛との駆け引  
きは終わり、勝利の瞬  
間だ。



良型を上げた時には、  
震えさえきて次の餌を付ける事ができない  
事もある。

この全てのやり取りが真鯛に魅了される要  
因なのかもしれません。

大事な事が、大物を釣った時には称賛し  
てもらい自慢できる『仲間』がいるから。  
最高の仲間に出会えた事に感謝しています。

## ボエム山本の 独り言

激闘！浜カップ野球大会！  
岩船で1番強いヤツ！

7月10日。岩船中学校グラウン  
ドにて、近年盆野球を連覇中の上  
浜町チーム対岩船の野球自慢を集  
めた連合チームとのドリームマッ  
チ『浜カップ』が行われました。  
闘いは熾烈を極め最終回！拮抗し  
た試合を打ち破る連合チームのサ  
ヨナラヒットに上浜町が敗れると  
いう結果に。流石は岩船の野球自  
慢達！今年の盆野球大会は惜しく  
も雨で中止となりましたが来年は  
どこのチームが優勝するか今から  
楽しみですね！

試合の前後には他チームのエキ  
シビジョンマッチもあり盛り上がっ  
ていました！

この『浜カップ』は初の試みで  
したが大成功に終わりました。地  
域活性化、交流の先駆けとなれば  
良いですね。

